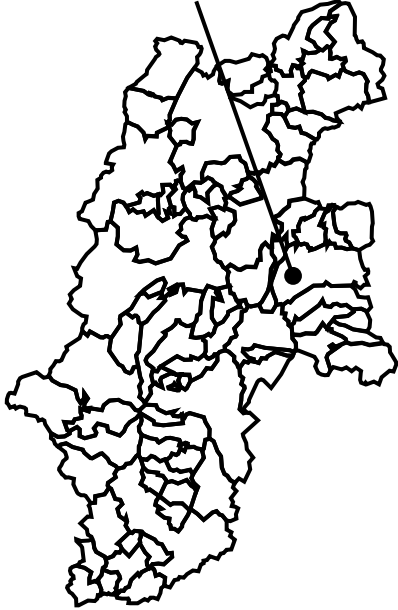


＜公告・縦覧＞

特定区域及び特定環境負荷低減事業活動の内容に関する事項

佐久市、長野県

特定区域	佐久市望月地区	位置図
<p>当該区域の農業の特性</p>	<p>当該区域の主な産地である「長者原（ちょうじゃはら）」は、八ヶ岳山麓と浅間山を望む標高1,000m前後に位置し、キャベツ、ハクサイ等の高原野菜の産地で、㊦（まるつき）ブランドとして、主に関西方面に出荷されています。</p> <p>谷沿いには水田が広がっており、昼夜の温度差が大きいことから良食味な米が生産されています。また、古くからのりんごの産地であり、近年では、日照量が多く降水量が少ないといった気象条件を活かして、シャインマスカットやワイン用などのブドウの生産も始まるなど果樹の産地でもあります。</p> <p>さらに、酪農、肉牛等の畜産が盛んで、市内でも全ての品目で収益性がとれており、バランスのよい農業生産が行われている区域です。</p> <p>また、有機農業が盛んな地域でもあり、新規就農者を中心として、春日地区ではズッキーニやインゲン、協和地区ではタマネギや大豆、布施地区ではスイートコーンやハクサイなどで、水稻は当該区域のほぼ全域において、有機農業が展開されています。</p> <p>加えて、当該区域に令和4年度より有機農業の試験用として借りている農場において、学校給食への有機農産物の提供の可能性について検討する試験を開始しています。</p>	<p>佐久市望月地区 （春日地区、協和地区、布施地区、本牧地区）</p> 
<p>特定区域の理由</p>	<p>当該区域は、中山間地域であり農地が点在しているが、化学合成農薬の飛散等のリスクが小さいことから、有機農業を始めとする環境にやさしい農業の取組が進んでいる地域であるとともに、当該区域の有機農業者が、有機農業を志す新規就農希望者を研修生として受け入れる等、人材の育成も図られており、環境にやさしい農業への理解が浸透している地域です。さらに、当該区域は酪農と肥育牛の畜産も盛んであり、家畜の排せつ物を主原料として、おが粉やもみ殻、稲わら等の副資材を使用した堆肥を製造する「望月土づくりセンター」があることから、当該区域内において資源循環型の農業を進めていくことが可能です。</p> <p>また、当該センターにおいて製造する堆肥の利用拡大を図るため、これまでの大規模農業者のマニアスプレッダーによる散布利用から、散布が容易なペレット堆肥や堆肥と化成肥料をペレット化したハイブリット堆肥である「望ちゃん」の製造・流通・販売を強化する他、地域の未利用資源を活用した新たな有機肥料の開発にも着手する計画について、JA 佐久浅間、JA 全農長野県本部、佐久市など関係者でプロジェクトチームを立ち上げて検討を進めるとともに、同取組計画について基盤確立事業として認定を受け、取組が進められていることから、当該区域においてペレット堆肥の利用をモデル的に進めるために特定区域を設定します。</p>	
<p>活動の型</p>	<p>環境負荷の低減に資する先端的な技術を活用して行う農林漁業の生産活動</p>	
<p>活動の内容</p>	<p>当該区域のあらゆる栽培品目に対し、環境負荷の低減に資する先端的な技術として、土壌診断と合わせて、有機質資材であるペレット堆肥の施用による土づくり及び化学肥料・化学合成農薬の使用を減少する取組を進めます。</p>	